

サーモカメラと金型内センサーを用いたダイカスト不良検知AI システムに関する研究開発

事業概要（フェーズ 1）

内容

ダイカストの検査工程における省力化・省人化を実現するための、金型センサーデータと熱画像を用いた、AIによる鋳造品のインプロセス良否判定システムを開発する。

背景・経緯

鋳造品の製造現場では、熟練技能が求められる目視やX線による外観検査が行われている。また、大量生産される鋳造品のX線検査には多大な費用と工数が必要となることから、インライン検査の導入による検査工程の省力化・省人化が求められている。

狙い、波及効果

インプロセス良否判定が実現されることで、従来の人手による検査工数の問題が解決される。

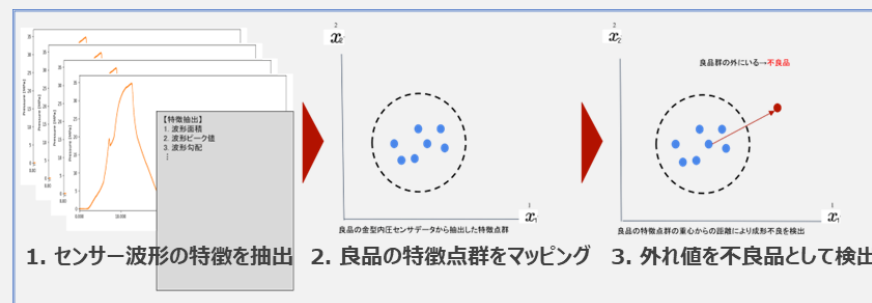
事業化

ターゲット市場である鋳造メーカーに対して、i) 自社からの直接販売、ii) 金型センサーメーカーから顧客への販売、iii) ダイカストマシンメーカーから顧客への販売の3つの商流により収益を獲得する。

株式会社MAZIN

本社所在地	東京都中央区日本橋本町3-3-6 ワカ末ビル2階
設立／資本金	2018年設立 / 10,000 千円
従業員数	18 名（2024年9月現在）
事業内容	先端製造技術の研究開発とシステム販売

特徴抽出と良否判定AIアルゴリズム



特徴抽出と良否判定AIアルゴリズムのイメージ